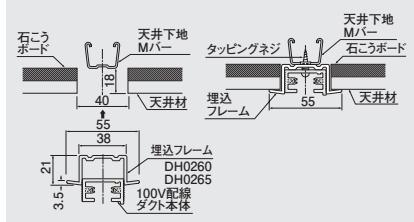


埋込フレームの取り付け(施工方法)

- ①100V用配線ダクトのレイアウトに合わせて天井面に切り込みを入れる。
- ②埋込フレームをタッピングネジ(取付間隔約1mにする)で天井下地Mバーに取り付ける。
- ③長さ方向の切込みは100V用配線ダクト本体の長さプラス108mm(フィードインキャップ、エンドキャップ付)としてください。

■天井構造の例(捨て貼り工法の場合)

- ①天井面の切り込み寸法
- ②埋込フレームの取り付け



■100V用配線ダクトの許容荷重

100V用配線ダクト本体の最大許容荷重^{*1}は、1mおきに固定されている場合、1mあたり許容荷重20kgまで取り付け可能です。

●直付・埋込施工



許容荷重^{*1}
(ダクトたわみ2.5mm以下)
※全ての取付穴を付属ネジで固定した場合

注)※1の許容荷重は、静荷重における配線ダクトのたわみ限度を示しております。
注)パイプ吊りダクトには、質量や形状により取付できない照明器具があります。必ず仕様をご確認ください。

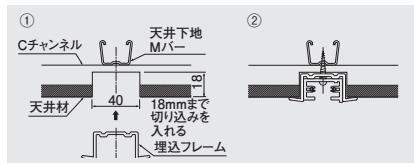
●パイプ吊り施工



許容荷重^{*1}
(ダクトたわみ2.5mm以下)
20kg(L=1mの場合)
5kg(L=1.5mの場合)

■天井材が18mmより薄い場合の施工方法

- ①埋込フレームと交差する部分のMバーを切除する。
- ②Cチャンネルで補強します。



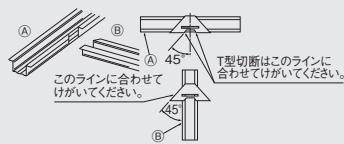
■口の字型、田の字型などに組む場合。

- ①埋込専用のジョイナL.T.+がないので埋込フレームを加工してください。
- ②標準のジョイナL.T.+と組み合せます。定規は外箱(10本入)に1個同梱しています。

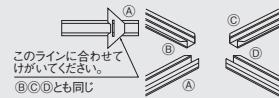
●ジョイナLを使う場合(エルの場合L曲がり)



●ジョイナTを使う場合(ティーの場合T曲がり)

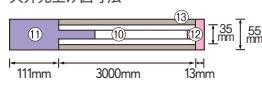


●ジョイナ+(クロス)を使う場合



●埋込施工の埋込穴寸法の例

天井見上げ図寸法



埋込穴寸法



⑩100V配線ダクト本体(3m) DH0213×1

⑪埋込用フィードインキャップ DH0261K×1

⑫埋込用エンドキャップ DH0262×1

⑬埋込用フレーム DH0260×1